

**TOMICA LIMITED
VINTAGE NEO**

1/64
SCALE

人気の'80-90年代ホンダ車

新規金型でEF系シビックシャトルが登場



↑LV-N293a ホンダ シビック
シャトルビーグル（黒／グレー）
94年式

●ここが見どころ●

- ①新規金型でEF系シビックシャトルを製品化
- ②あえてシャトル、あえてビーグル
- ③年式、グレードの違いに注目

1987年に誕生した4代目シビック（EF系）は、先代で好評だった3ドアHB、4ドアセダン、5ドアのシャトルおよび商用のプロと3種類のボディスタイルを引き続き採用。特にシャトルは4WDも設定され、当時としては珍しい、背の高いワゴンとして支持されました。1991年に5代目に移行した後もシャトルとプロだけは4代目のまま継続生産され、1994年にはRV色を増したビーグルが設定されました。ビーグルは流行のRVを持たなかった当時のホンダのラインアップを補強し、来るべきクリエイティブ・ムーバー時代への橋渡しを務めました。

1/64スケールダイキャスト製ミニカー（塗装組立済）
オープンパッケージ

パッケージサイズ：W78mm×H42mm×D40mm（2種共）
原産地：中国 重量約50g

版權元商品化許諾申請済

※写真は試作品です。
実際の製品仕様とは異なる場合があります。

※ルーフレールはユーザー取付部品です
（2種共）。

9月
予定



↑LV-N297a ホンダ シビック
シャトル56i（ページュ）87年式

TLV-NEOでは、すでにEF系シビックの3ドアHBを製品化しておりますが、今回は完全新金型でシャトルをラインナップ。N293aはビーグルを、N297aではデビュー当初のノーマル車とし、どちらも当時のホンダらしいガラスエリアの大きなボディ、低いノーズなど実車の特徴を再現しています。フロントのバンパーガード、リアフォグランプの有無などビーグルとノーマル系の違いも追いかけています。TLV-NEOでは当時のホンダ車、小型車を追いかけて製品化しておりますが、シビックシャトルもあわせてお楽しみください。

【文責：トミーテック】

おかげさまでTLVシリーズは20周年を迎えます